

噴火に伴う災害1

Damage from Eruptions 1



上空から降下する噴出物に伴う
災害は、火口からの距離により
被害の内容や規模が変わる。火
口の近くでは、火口から吹き飛
ばされた大きな噴石が弾道を描
いて飛散し、人命を奪い、建物
の屋根を貫く。火口から離れた
ところでは、上空の風に流され
た小さな噴石や火山灰が広域に
降下し、交通障害や農作物被害、
停電・断水など、現代の社会生活
に大きな影響を及ぼす。

上空から降下する噴出物

大きな噴石※

※気象庁では、防災上警戒・
注意すべき大きさの火山岩塊や
火山礫を噴石と呼んでいる。



浅間山の噴石
2005(平成17)年噴火



桜島の噴石による被害
1986(昭和61)年噴火



有珠山の噴石による被害
2000(平成12)年噴火



御嶽山の噴石による被害
剣ヶ峰側からみた頂上山荘 2014(平成26)年噴火

降灰



三宅島の降灰
2000(平成12)年噴火